

東日本大震災から 7年目を迎える今

入場無料（申し込み不要※どなたでもご参加できます）

【日時】2017年2月26日（日）13:00～17:30終了予定（受付・開場12:30）

【場所】立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム 【主催】立命館大学応用人間科学研究科

13:00～14:30 第一部 藍原寛子氏講演会

「自主避難者」は今

原発事故から間もなく7年目を迎え、今なお8万人を超える人々が避難生活を余儀なくされている。「自主避難者」たちの体験、各地で起きているいじめ問題等を藍原氏とともに考え、自分で選択することの意味を未来を拓く私たちの力につなげていきたい。

14:40～17:30 第二部 活動した院生たちからの報告

『東日本・家族応援プロジェクト2016』から見た被災地の今



藍原寛子氏プロフィール：医療ジャーナリスト。福島県福島市生まれ。元・福島県の地方紙記者。国際フリーランスジャーナリスト連盟、日本公衆衛生学会員、日本平和学会員。

【お問い合わせ】立命館大学衣笠独立研究科事務室 TEL/075-465-8375（月～金 9:00～17:30）



東日本大震災から7年目を迎える今

【日時】2017年2月26日(日) 13:00～17:30終了予定(受付・開場12:30)

東日本大震災から6年が過ぎようとしています。帰還政策が進められ、原発は再稼働、沿岸部には最大高さ15.5M、総延長400KMの防潮堤が建設されつつあります。被災地に関する報道も少なくなりましたが、本当に復興は進み、震災は過去のことになったのでしょうか？

今回は、福島を拠点に活躍中のジャーナリスト藍原寛子氏を招き、その存在が見えにくい「自主避難者」についてお話し頂きます。後半では、立命館大学応用人間科学研究科「東日本・家族応援プロジェクト」の活動を通じて院生たちが見た6年目の被災地の状況について報告します。今一度、立ち止まって、被災地や避難者たちに思いを寄せ、私たちの過去・現在・未来について考えてみませんか。

プログラム

13:00～14:30 第一部 藍原寛子氏講演会

「自主避難者」は今 -自分で選択する、それを私たちの力に-

原発事故から7年目、今なお、8万人を超える人々が、避難生活を余儀なくされています。なかでも、「自主避難者」には賠償もなく、住宅支援さえ打ち切れ住居からの退去が求められようとしています。その存在と被害が見えにくい「自主避難者」たちはどのような体験を経て、今どうしているのかを紹介して頂き、全国各地で起きているいじめ問題を含め、私たちが共に未来を考えていくための手掛かりが得られればと思います。

14:40～17:30 第二部 活動した院生たちからの報告

「東日本・家族応援プロジェクト2016」から見た被災地の今

司会進行:村本邦子

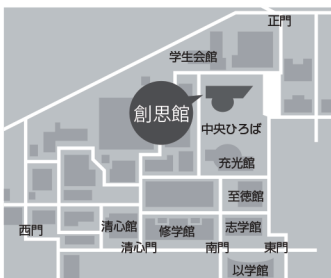
14:40～14:50 プロジェクト概要の説明と企画趣旨

14:50～16:10 各地プロジェクトチームによる報告 青森県むつ市/宮城県多賀城市/宮城県石巻市/岩手県宮古市/福島県福島市

16:10～16:20 休憩

16:20～17:30 コメントとディスカッション コメンテーター:藍原寛子氏/野池雅人氏(まちとしごと総合研究所共同代表)

アクセス情報



JR・近鉄 京都駅より……市バス50にて「立命館大学前」下車
JR・近鉄 京都駅より……市バス205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
JR・近鉄 京都駅より……JRバス高雄・京北線にて「立命館大学前」下車
阪急 西院駅より……市バス205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
阪急 西院駅より……京福電鉄嵐山本線・北野線にて「龍安寺駅」下車、徒歩6分
阪急 西院駅より……京福電鉄嵐山本線・北野線にて「等持院駅」下車、徒歩6分
阪急 大宮駅より……市バス55にて「立命館大学前」下車
京阪 三条駅より……市バス15・59にて「立命館大学前」下車
JR・地下鉄 二条駅より……市バス15・55にて「立命館大学前」下車
JR円町駅より……市バス15にて「立命館大学前」下車
JR円町駅より……市バス204・205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分



立命館大学 応用人間科学研究科
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL:075-465-8375 / MAIL:doku-ken@st.ritsume.ac.jp
<http://www.ritsume.ac.jp/acd/gr/gsshs/index.html>

【お問い合わせ】

立命館大学衣笠独立研究科事務室 TEL/075-465-8375(月～金 9:00～17:30)
<http://www.ritsume.ac.jp/acd/gr/gsshs/sinsaiproject.html>